

月信

GOVERNOR'S Monthly Letter



Rotary

International
District

2740

VOL. 10

2026.4



2025-26 年度 ガバナー月信



中島 潔 作 「風のふる里」



Index

Governor's message No.10	1
第1グループIM 報告	2
第3グループIM 報告	3
第4グループIM 報告	4
第2740地区の児童養護施設にランドセルを寄贈	5
第2740地区 職業奉仕委員会新聞	6
イアン・マッケイ駐日カナダ大使兼 インド太平洋地域担当特使 特別講演 告知	7
2026年1月会員数・出席報告	8
新会員紹介・寄付者紹介	9
からつ勘右衛 (かんね) 話・編集後記	裏表紙

※誤字脱字以外は寄稿者の意向を尊重し原文のまま掲載しております

地球を護る、地球を育む

2025-26年度 ガバナー 石坂 和彦

私たちの住むこの地球はこの先どうなっていくのでしょうか。

ロータリーには7つの重点分野があります。そしてそれぞれの月ごとに、ロータリーの特別月間があります。この4月は環境月間です。環境ってなんだろう？地球を考えるとすることは、地球環境を考えるとということではないのかと思っています。

“地球の砂漠化”が単に観念の世界の事ではなく、実際の脅威として今私たちを襲っています。私たち世代で、それを考えないわけにはいきません。子供たち孫たちの未来を考えると、決して放置できません。

地球温暖化ではなく、今は地球沸騰化の時代です。(国連グテーレス事務総長)

- ・ 上昇し続ける世界平均気温
- ・ 増加し続ける二酸化炭素
- ・ 海面水位の上昇
- ・ 農作物への影響

一方、脱炭素の副作用にも目を向けなければなりません。大きく困難な課題です。

ロータリーは、環境及び気候変動を考え、環境の保護を考え、環境月間の中でロータリアンが思いを巡らせます。何ができるんだろう？何をなすべきなんだろう？真剣であり本気です。私が注目している取り組みの一つとして、

【植林活動と森林再生】

- ・ 植える 育てる 収穫する 適材適所で使う
- ・ 広がる木材の利用＝炭素の固定
- ・ 間伐等の推進(有効利用、間伐を継続的に行う、山村の活性化)

森林は、国土の保全・水源の涵養・地球温暖化の防止・生物多様性の保全・木材等の林産物供給などの多面的機能を有している(林野庁HPより)

環境という言葉の持つ重さ、北極海の氷が溶けて無くなる、ホッキョクグマが絶滅する、等々、地球の砂漠化。ロータリーで考えるきっかけを与えて頂きました。

地球を護る・地球を育む

ロータリーは動いています。私たちは実行に移しています。

第1グループIM 報告

実行委員長 相浦封哉 (多久RC)

2026年2月14日(土)、佐賀市ガーデンテラス佐賀ホテル & リゾートにおいて、国際ロータリー第2740地区第1グループ IM・合同例会を開催いたしました。第1グループの5クラブのみで開催するのは、昨年に引き続き2回目となりますが、石坂和彦ガバナーはじめ、百余名のご参加をいただきました。

第2740地区国際青少年交換委員長 徳永隆信様より「人手不足の時代に私たちは“誰と働くか”を問われている」と題し、ご講演いただきました。

内容として

- 今から労働者不足と多文化社会に直面する為、異文化や価値観の違いを理解し、若者や外国人を受け入れる経営者自身が学習する必要がある。
- 自分の経験からのみ指導するのではなく、彼らを理解する力「翻訳力」を身に付けなければならない。
- 青少年交換プログラムにおいては、Student Firstと Program First、ホストファミリー、ホストクラブ、青少年交換委員会の母性と父性がかみ合ってこそその職業奉仕である。
- 第2740地区はインバウンド学生全員に SIMカードを持たせ、世界中どこにいても LINEで連絡可能でありデジタル連携を進めている。
- 循環型ホストファミリー制度
- 親睦に学びを取り入れ、新しい魅力を創出。
- 革新は若さから、信頼は経験から、青少年交換プログラムで学びたい若きロータリアンの募集。

主に以上の事を熱く語っていただきました。

今後、我々ロータリアンが、若者や外国人に対しての向き合い方を考えさせられる非常に有意義なお話であったと思います。

懇親会では、ささやかながら5クラブ合同で親睦を深めることが出来、大変嬉しく思います。最後にホストクラブとして至らない点、多々あったと思いますが、ロータリーの寛容の精神にてご容赦ください。皆様、大変ありがとうございました。



第3グループIM 報告

ホストクラブ会長 新納英明 (武雄RC)



令和8年2月7日(土)、武雄市にある山内農村環境センターにおいて、国際ロータリー第2740地区第3グループのインターシティミーティングが開催され、会員105名が参加されました。

今回のホストクラブは馬渡洋三ガバナー補佐を輩出している武雄RC、コ・ホストクラブは有田RCと嬉野RCでの開催でした。

式典では、会長として歓迎の挨拶をさせていただき、ガバナー補佐挨拶、石坂和彦ガバナー挨拶と続き、その後基調講演が行われました。

基調講演の講師には、熊本県天草市に所在する曹洞宗大悲山 向陽寺 住職の渡辺紀生様をお迎えし、「ギター和尚のお元気説法」をテーマに、ユーモアを交えながら笑いや元気が出る講話がなされました。講演の最後はギター和尚らしくギターを伴奏しながら軽やかに分かりやすく伝えていただき、とても有意義な時間となりました。

その後、会場を武雄センチュリーホテル飛翔の間に移し、懇親会が開催されました。懇親会でもクラブの垣根を超えた会員同士の交流と親睦が図られ、親睦と連帯感を一層深める有意義な場となったと思います。

また武雄RCが誇る雑技団のおもてなしのファイナルコンサートもあって、こちらも会を盛り上げていただき、無事今回のIMが盛会に終わったと思っています。

平岡清宏IM実行委員長のもと実行委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。ご参加いただいた皆様、そしてすべての関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。

IM開催においてチーム一丸となって開催できたことは今後のクラブ運営や、ロータリー活動に対する意識向上にも通じていくと信じてIMのご報告と致します。感謝。拝。



第4グループIM 報告

IM実行委員長 坂本直樹 (唐津RC)

2025-26年度 国際ロータリー第2740地区 第4グループ
INTERCITY MEETING テーマ:「出逢いに感謝して、未来に
紡ごうロータリアンの価値！」

日 時: 2026年2月21日(土) 14時点鐘
場 所: 唐津シーサイドホテル
ホストクラブ: 唐津ロータリークラブ

中島みゆきの「糸」を BGMに定刻となり、ホストクラブ
木下会長の点鐘で開会。続いて私が開会の辞を述べました。
国歌およびロータリーソング「奉仕の理想」斉唱、「四つ
のテスト」唱和の後、唐津RC恒例の挨拶タイムで和やかに
幕を開けました。

木下会長挨拶、小林ガバナー補佐による来賓・参加クラ
ブ紹介に続き、石坂ガバナーならびに小林ガバナー補佐よ
りご挨拶を頂戴しました。

研修第一部

「多様なロータリーの価値としての横糸」をテーマに、ガ
バナー補佐が事前に7名の会員へ行ったインタビュー映像
を上映。入会5年未満の30代の会員から94歳の会員まで、
世代や立場を越えた声が紹介されました。入会動機、印象
に残る活動、そして少子高齢化・デジタル化が進む社会に
おけるロータリーの役割などについて、それぞれの経験に
基づく示唆に富んだ意見が共有されました。

研修第二部

第一部の「横糸」を受け、「紡ぐロータリーの心と原点と
しての縦糸」をテーマに、唐津RC戸川忠俊会員による講演。
ロータリーの目的、五大奉仕、職業奉仕におけるヴォケー
ションとオキュペーションの違い、四つのテストの原文解
釈など、ロータリーの原点を改めて深く、かつ分かりやす
く解説していただきました。

石坂ガバナーの講評では、四つのテストの原文に触れな
がら本研修を総括。「懇親会の万歳三唱までが研修」とのお
言葉で締めくくられました。辻副会長の閉会の辞、会長の
点鐘をもって研修を終了しました。

会場を移し、海を望む会場にて着席ジュッフェ形式で懇
親会を開催しました。特別な余興は設けず、会員同士が語
らい親睦を深める時間といたしました。ロータリーソング
「手に手つないで」、小島次年度ガバナー補佐による万歳三唱、
渡邊 IM副実行委員長の閉会の辞をもって散会いたしました。

ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



第2740地区の児童養護施設にランドセルを寄贈

社会奉仕委員会委員長 高比良 耕一（佐世保東南RC）

初めに、このランドセル寄贈は第2740地区会員の皆様からの贈り物である事を報告します。

これは(佐賀・長崎)第2740地区16箇所ありました児童養護施設への聞き込み調査をしまして、両親が居ない、又は何らかの理由で親と一緒に暮らすことの叶わないお子様を対象にしまして、今春新一年生として入学となる児童でランドセルを買って貰えない所への寄付としております。一人でも多く就学困難な子供をなくすために…。これを考え、今回は地区内で何が求められているか、私たちに何が出来るのかを考えまして、今回の児童養護施設への今春新一年生へのランドセル寄贈といたしました。調査しておりますと最寄りのロータリークラブより頂いている施設も多々あり、嬉しくも思いながらそれでも数名の貰い漏れた子供たちが16施設中4施設のべ5名ほど居ましたので寄贈させて頂きました。

第2740地区内のお子様でランドセルを背負えないような事が起こらないように今後とも、委員会ではこのランドセル寄贈を継続事業と残していき、引き続き各施設様のご意見やご要望を聞きながら地域に密着した社会奉仕事業へと紡いで行ければ地域内での貧困層を減らして行けるのではないかと考えます。今回、第2740地区の皆様より地区社会奉仕委員会がお預かりしていました年間予算内で賄えました事に感謝をお伝えします。

【地区内16児童養護施設】

(佐賀) 聖華園	TEL 0952-98-1075		
(嬉野) 済昭園	TEL 0954-66-2138		
(基山) 洗心寮	TEL 0942-92-2818		
(唐津) 慈光園	TEL 0955-73-1988		
(佐賀) 佐賀清光園	TEL 0952-23-3295		
(長崎) 浦上養育院	TEL 095-844-4055	(長崎) 明星園	TEL 095-878-4953
(長崎) みのり園	TEL 095-898-4088	(島原) 太陽寮	TEL 0957-62-2054
(諫早) 聖母の騎士園	TEL 0957-34-2152	(五島) 奥浦慈恵院	TEL 0959-73-0055
(五島) 希望の灯学園	TEL 0959-42-0204	(佐世保) 清風園	TEL 0956-31-6980
(大村) 光と緑の園	TEL 0957-53-7410	(大村) 向陽寮	TEL 0957-53-7415
(川棚) 慈光園	TEL 0956-82-2080		



第 2740 地区 職業奉仕委員会新聞

発行：職業奉仕委員会
2026 年 令和 8 年 10 号

十号

第2740地区 職業奉仕委員会 新聞

今回は、ロータリーの職業奉仕の理念と職業道德律の倫理性の重要性を考えてみます。皆様方が既に承知であるこのフレーズ ロータリー「四つのテスト」言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

職業奉仕の定義を以下に纏めてみました。

- ・自分の職業に誇りを持ち、正しく立派に実行すること。
- ・日常の仕事や生活の中で、ロータリーの理念を体現し、模範となること。
- ・公明正大な取引関係を築き、職場や社会の環境を向上させること。
- ・他人に対して友好的であり、助け合いの精神を持つこと。

つまり、ロータリーの奉仕の理念は、職業を通じて奉仕を行い、社会に貢献することを指すと考えられるでしょう。これらの行動を通じて、ロータリーの理念である奉仕の精神を広めることが可能となると思います。

ロータリーの会員は以下の内容で職業奉仕を実践していると考えています。

1. 自分の職業を代表する：会員は、自分の職業を通じてロータリーの理念を体現し、仲間の会員や外部の人々に対して模範となるよう努めます。
2. 日常の活動を通じた奉仕：職業奉仕は日々の生活経験から生まれるものであり、会員一人ひとりが自分の職業上の日常的な関係の中で、友好的かつ助け合いの精神を持って行動することが求められます。
3. 公明正大な取引関係の促進：職業奉仕の目的は、日常の仕事に意義を与え、職場での取引関係を公正で誠実なものにすることです。
4. 集団的な活動への参加：クラブ委員会や地区のプログラムを通じて、職業奉仕の理念を広めるための集団的な行動にも参加します。具体的には、地域団体との交流、職業に関する研究会、中学・高校生への職業セミナー等の活動が含まれます。

これらの活動は、職業奉仕の理念を実践し、職業を通じて社会に貢献することを目的としています。また、職業奉仕は個人の職業上の日常的な関係の中で、友好的かつ助け合いの精神を持って行動することも含まれています。そして、ロータリーの理念は「職業とロータリーの理想を結びつけること」にあります。ロータリーの会員は、自分の職業を通じてロータリーの精神を体現し、仲間の会員や日常の仕事で接する人々に対して模範となることが求められています。そして、ロータリーの奉仕活動は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして、青少年奉仕の5つの部門に分かれており、特に職業奉仕は個々の会員が日常の職業活動を通じて奉仕を行うことが強調されています。職業奉仕の目的は、日常の仕事に意義を与え、公正な取引関係を築くことだと考えます。職業人として、経営における思いやりの役割は、フェアプレーの精神を育み、それぞれの信頼関係を築くことにあります。思いやりを持つことで、従業員や顧客との良好な関係を構築し、企業の社会的責任を果たすことが可能になります。また、競争が激しい環境においても、公平性や協調を保つための重要な要素となり、長期的な成功や持続可能な成長につながると期待します。ロータリーの職業奉仕は、これからも絶え間なく私たちの道しるべとなるでしょう。

地区職業奉仕委員 徳川清隆

各クラブの会長・幹事・職業奉仕委員会の方へ例会でこの新聞の紹介をお願いします

職業奉仕 WEB ラーニング 参加者募集

2025-26 年度 5/20

水曜日 19:00 より 20:15 まで

職業奉仕の基礎を一緒に学びましょう。
参加には事前申し込みが必要です。➡



こちらの勉強会はメーカー対象の研修会となります

Rotary



講演会
希望を紡ぐ、ロータリーの輪

特別講演

「すべては

ロータリー

から始まった」

イアン・マッケイ駐日カナダ大使は高校生時代に、留学プログラムで、旧下関第一高校（下関中等教育学校）へ留学されていました。講演会では、その当時の思い出を語り、また大使として日本に赴任されてからの出来事や、多岐にわたる日本とカナダとのつながり、またその重要性について多く語っていただきます。

2026年
6月6日(土)

開場 13:30 開演 14:00

諫早文化会館 大ホール

国際ロータリー第 2740 地区主催
地区職業奉仕委員会主管

イアン・マッケイ
駐日カナダ大使 兼 インド太平洋地域担当特使

2021年4月15日、駐日カナダ大使に指名され、2021年8月25日に天皇陛下に信任状を捧呈。2023年4月19日にインド太平洋地域担当特使に任命。

2026年1月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	70.7	73	7	76	8	1	2	-1	3
	小城	4	72.3	28	4	27	4	0	1	-1	-1
	牛津	4	63.4	24	0	26	0	0	0	0	2
	多久	4	74.2	31	6	31	6	0	0	0	0
	佐賀大和	3	68.2	22	6	22	6	0	0	0	0
	小計		69.8	178	23	182	24	1	3	-2	4
第2グループ	佐賀西	2	77.9	39	4	43	4	1	0	1	4
	佐賀北	3	62.4	44	3	42	5	0	1	-1	-2
	佐賀南	4	64.8	46	6	46	5	0	0	0	0
	神埼	4	73.0	39	4	40	4	1	0	1	1
	佐賀空港	3	72.0	17	0	17	0	0	0	0	0
	小計		70.0	185	17	188	18	2	1	1	3
第3グループ	有田	3	70.4	27	2	27	2	0	0	0	0
	武雄	3	82.6	40	2	44	2	0	0	0	4
	鹿島	3	98.8	25	5	27	5	0	0	0	2
	嬉野	4	81.2	24	2	24	3	0	0	0	0
	大町	3	84.2	12	0	13	0	0	0	0	1
	太良	4	94.5	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		85.3	137	11	144	12	0	0	0	7	
第4グループ	唐津	4	90.6	55	0	55	2	2	0	2	0
	伊万里	4	94.2	25	1	26	1	0	0	0	1
	唐津東	4	81.0	49	2	49	3	0	0	0	0
	唐津西	4	86.8	27	1	29	3	1	0	1	2
	伊万里西	4	78.7	34	5	33	5	0	0	0	-1
	唐津中央	4	88.2	33	4	35	4	0	0	0	2
小計		86.6	223	13	227	18	3	0	3	4	
第5グループ	佐世保	4	78.0	81	1	82	2	0	1	-1	1
	平戸	4	62.5	22	3	23	4	0	0	0	1
	北松浦	3	89.9	25	2	23	2	0	0	0	-2
	佐世保西	3	66.6	22	6	24	6	0	0	0	2
	松浦	4	81.7	25	0	26	0	0	0	0	1
	小計		75.7	175	12	178	14	0	1	-1	4

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	4	100.0	60	3	64	3	0	0	0	4
	佐世保東	2	84.2	25	1	26	1	0	0	0	1
	佐世保北 (衛星クラブ13)	2	98.0	54	6	53	6	0	0	0	-1
	佐世保中央	4	90.2	52	2	55	2	0	1	-1	3
	佐世保東南	2	84.0	25	0	25	0	1	0	1	0
	HTB佐世保	3	77.6	23	4	22	4	0	0	0	-1
小計		89.0	239	16	245	16	1	1	0	6	
第7グループ	大村	3	82.9	41	4	40	3	0	0	0	-1
	島原	4	66.3	24	3	26	3	0	1	-1	2
	大村北	4	80.3	26	1	27	1	0	0	0	1
	島原南	3	63.0	17	2	17	2	0	0	0	0
	大村東	3	78.8	36	7	37	7	0	0	0	1
	小計		74.3	144	17	147	16	0	1	-1	3
第8グループ	諫早	4	66.9	68	0	71	0	1	1	0	3
	諫早北	4	85.0	74	3	76	3	0	0	0	2
	諫早西	4	88.8	46	3	41	3	0	0	0	-5
	諫早多良見	4	94.7	24	1	24	2	0	0	0	0
	雲仙 諫早南	2	70.8	12	3	12	3	0	0	0	0
	小計		81.3	224	10	224	11	1	1	0	0
第9グループ	長崎	4	84.9	60	2	63	3	0	0	0	3
	福江	3	61.7	30	0	30	0	0	0	0	0
	長崎北東	3	85.8	34	2	34	2	0	0	0	0
	福江中央	3	90.2	18	2	18	2	0	0	0	0
	長崎西	3	71.6	33	1	33	1	0	0	0	0
	小計		78.8	175	7	178	8	0	0	0	3
第10グループ	長崎北	3	77.7	67	2	71	3	0	0	0	4
	長崎南	4	73.5	63	2	62	3	2	0	2	-1
	長崎東	4	75.2	39	2	40	2	0	0	0	1
	長崎みなと (衛星クラブ2)	3	80.4	33	7	26	2	0	0	0	-7
	長崎中央	3	93.6	42	1	44	1	0	0	0	2
	長崎出島	3	77.5	69	10	73	10	3	0	3	4
小計		79.6	313	24	316	20	5	0	5	3	

54クラブ合計	79.5	1,993	150	2,029	158	13	8	5	37
---------	------	-------	-----	-------	-----	----	---	---	----

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2025年7月1日から2026年1月末までの増減です。

新会員紹介 私たちの新しい仲間になりました方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職 ※今月号に掲載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。

ガバナー月信vol.9(3月号)に掲載した新会員紹介のページで瀬下遼君の会社名が違っておりました。深くお詫びして訂正し、再掲載致します。



佐賀 R.C.
瀬下 遼君
大和証券(株)
佐賀支店
支店長



佐賀 R.C.
岩沢 志保君
SMBC日興証券(株)
佐賀支店
支店長



佐賀西 R.C.
渡邊 駿君
(株)日本文教センター
代表取締役社長



神埼 R.C.
五十嵐 久直君
三愛オブリガス三神(株)
代表取締役



唐津 R.C.
平川 登紀君
Toki's SECURITY Lab.
代表



唐津 R.C.
中島 由美子君
東洋警備保障(株)
代表取締役



唐津西 R.C.
戸川 順子君
(有)ハート
取締役会長



佐世保東南 R.C.
中川 一平君
(株)トマト企画室
代表取締役



諫早 R.C.
松原 健志君
(有)松原運動具店
代表取締役



長崎南 R.C.
榎 節子君
社会保険労務士法人アドバンス
長崎オフィス
支所長



長崎南 R.C.
西山 展司君
(有)昭和防災
取締役



長崎出島 R.C.
荒木 政浩君
(株)商工印刷
代表取締役社長



長崎出島 R.C.
永田 準一君
合同会社わせる
代表社員



長崎出島 R.C.
艶島 博君
(株)チョープロ
取締役

寄付者紹介 ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

※ ローターリー財団 ※		
種類	氏名	クラブ名
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	小田 計吾	平戸RC
	中島健太郎	長崎東RC
ポール・ハリス・フェロー	峯 喜一郎	佐世保南RC

※ 米山記念奨学会 ※		
種類	氏名	クラブ名
米山功労者 メジャードナー	福元 裕二	佐賀北RC
	為永 伸夫	大村東RC
米山功労者 マルチプル	馬場 謙吾	鹿島RC
	木下 修一	唐津RC
	小牧 憲明	福江中央RC
米山功労者	長津 弘	大村北RC
	岩永 和之	長崎北RC

ポリオ・ワンコインBOX報告

今月分BOX金額	164,669円
累計金額	2,114,501円

米山功労クラブ	佐賀北RC
---------	-------

からつ勘右衛 (かんね) 話



【第10話 竹の子】

今日は、かんねどんが、神主さまに負けらした話ば、しゅうだい。
勘右衛の家の裏は孟宗竹の藪があり、春には竹の子が生えました。
しかし、竹の子は塀をくぐって隣の神主さまの家の庭に生えています。
そこで勘右衛は神主さまに「お宅の庭に竹の子が入り込んでいますけん、掘らせてください」と頼みにいくと「ワシが掘っておいてやる」と言われました。



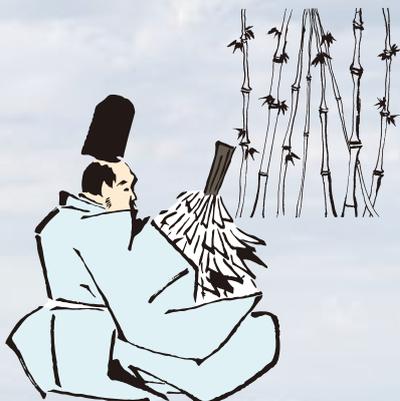
しかし、何日たっても神主さまは勘右衛の所へ竹の子を持ってきません。心配になった勘右衛は神主さまの家に行って聞いてみると「そうそう、竹の子を掘ったら死んでおったので、ワシが拜んでやったよ」と言います。

勘右衛が「じゃあ、その死体は私が引き取ります」と言うと「死骸をそのままにしておくわけにもいかないので、ワシの腹の中に埋めてやった」と言います。

これを聞いた勘右衛は「この欲張り神主めが」と腹を立てましたが、今さら竹の子

を返せと言って戻ってくるはずはありません。何か神主に仕返しをしてやろうと家で考えていると、庭先でドサドサ音がします。何だろうと勘右衛が庭先に出てみると「お前が竹の子が死んだと落胆しているから、遺品(かたみ)の竹の子の着物を持ってきてやった」と言って、神主さまは竹の子の皮を庭先に山積みにして帰って行きました。

(富岡行昌 著 『かんねばなし』より)



編集後記

『四つのテスト』の冒頭は「真実かどうか」ですが、4月1日はエイプリルフール。巷では「ウソをついてもいい日」と認識されています。

ならば、ロータリアンとして「誰も傷つけないウソ」をついてみたいものです。そんな事を考えていた時に思い出したのが、とある飲み友達の名言「カニでもない。原材料のタラでもない。それが良いカニカマ!」この「カニカマの真実」を言い当てたような名言、私は大好きです。もちろん「カニカマ」も。

月信委員 戸川 忠俊

2月号の編集後記で今年の恵方が北北西と書いておりましたが、今年は南南東でありました。謹んでお詫び申し上げます。

国際ロータリー 2740 地区
ガバナー事務所

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館地下1階
TEL 0955 (53) 9061 FAX 0955 (53) 9062
E-mail : ri2740tsuji@vc.people-i.ne.jp

WEBサイト▶

